

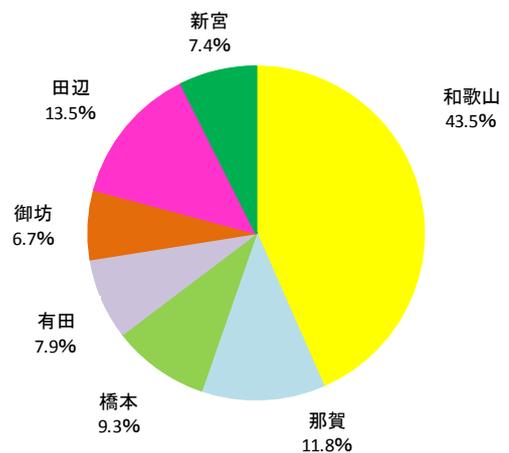
## 第2章 和歌山県における医療の状況（概況）

（1）和歌山県における人口構造等及び今後の人口推移見込みについて

- 平成22年「国勢調査」による和歌山県の総人口は100万2,198人、男女別では男性47万1,397人、女性53万801人となっています。
- 地域別に見ると、総じて、県北部に人口が集中している傾向にあり、県庁所在地である和歌山市を含む和歌山保健医療圏には県総人口の43.5%が、和歌山・那賀・橋本各二次保健医療圏の人口を合わせると県総人口の64.6%が集中している現状にあります。（下記参照）

〔 二次保健医療圏別人口・県人口に占める割合 〕

二次保健医療圏	総数(人)	男性	女性
和歌山	435,538	204,396	231,142
那賀	118,722	56,669	62,053
橋本	93,529	44,139	49,390
有田	78,678	37,019	41,659
御坊	67,243	31,990	35,253
田辺	134,822	63,285	71,537
新宮	73,666	33,899	39,767
県計	1,002,198	471,397	530,801



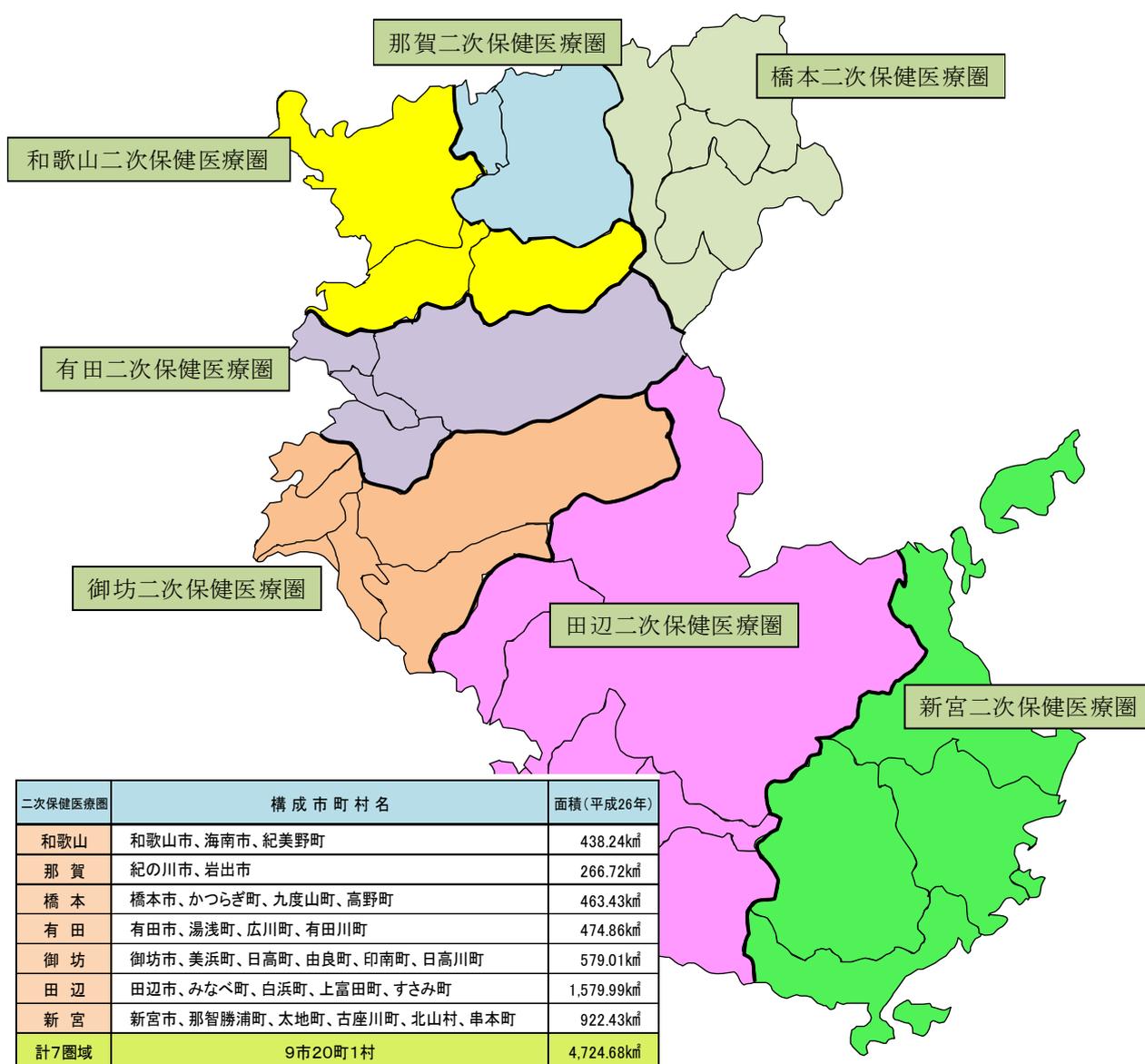
（総務省「平成22年国勢調査」）

- 今回の地域医療構想策定にあたっては、「ガイドライン」において、国立社会保障・人口問題研究所が平成25年3月に示した将来人口推計を用いることとされています。
- 当該人口推計によれば、本構想の対象となる2025年における和歌山県人口は86万9,182人と見込まれ、さらに2040年における県人口は71万9,427人にまで減少すると見込まれています。
- また、県内及び各圏域別の65歳以上等推計人口に関しては、P5に示すと

おりとなっています。(P5 人口推計(その2))

○ ここで、各二次保健医療圏ごとの高齢者人口に関して、2010年、2025年、2040年の推移を見ると、65歳未満人口では全国推移に準じる傾向にあるものの、65歳以上及び75歳以上人口で見ると全国数値では増加する一方で、和歌山県の数値はピークに達すると見込まれる2030年に向け増加し、2040年においては減少に転じることが見込まれます。

○ なお、和歌山県においては、岩出市・紀の川市の2市により構成される那賀保健医療圏のみが全国推移と同傾向を示す一方で、県内のほぼ全域において、人口高齢化が確実に進展している状況です。(P6 人口推計(その3))



◆ 県内二次保健医療圏（市町村別）の人口推計について（その1・総人口） ◆

自治体名、圏域名	総人口(人)							平成22(2010)年の総人口を100としたときの総人口の指数						
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
① 和歌山市	370,364	360,114	347,197	<b>331,996</b>	315,530	298,384	281,192	100.0	97.2	93.7	<b>89.6</b>	85.2	80.6	75.9
② 海南市	54,783	51,560	48,306	<b>44,967</b>	41,661	38,391	35,232	100.0	94.1	88.2	<b>82.1</b>	76.0	70.1	64.3
③ 紀美野町	10,391	9,326	8,356	<b>7,435</b>	6,593	5,801	5,057	100.0	89.8	80.4	<b>71.6</b>	63.4	55.8	48.7
和歌山 二次医療圏(小計)	435,538	421,000	403,859	<b>384,398</b>	363,784	342,576	321,481	100.0	96.7	92.7	<b>88.3</b>	83.5	78.7	73.8
④ 紀の川市	65,840	63,245	60,410	<b>57,358</b>	54,186	50,908	47,549	100.0	96.1	91.8	<b>87.1</b>	82.3	77.3	72.2
⑤ 岩出市	52,882	53,614	53,637	<b>53,164</b>	52,375	51,283	49,932	100.0	101.4	101.4	<b>100.5</b>	99.0	97.0	94.4
那賀 二次医療圏(小計)	118,722	116,859	114,047	<b>110,522</b>	106,561	102,191	97,481	100.0	98.4	96.1	<b>93.1</b>	89.8	86.1	82.1
⑥ 橋本市	66,361	63,877	61,210	<b>58,205</b>	54,982	51,566	47,992	100.0	96.3	92.2	<b>87.7</b>	82.9	77.7	72.3
⑦ かつらぎ町	18,230	16,836	15,547	<b>14,246</b>	12,992	11,787	10,842	100.0	92.4	85.3	<b>78.1</b>	71.3	64.7	58.4
⑧ 九度山町	4,963	4,479	4,051	<b>3,645</b>	3,256	2,890	2,553	100.0	90.2	81.6	<b>73.4</b>	65.6	58.2	51.4
⑨ 高野町	3,975	3,527	3,161	<b>2,812</b>	2,505	2,218	1,965	100.0	88.7	79.5	<b>70.7</b>	63.0	55.8	49.4
橋本 二次医療圏(小計)	93,529	88,719	83,969	<b>78,908</b>	73,735	68,461	63,152	100.0	94.9	89.8	<b>84.4</b>	78.8	73.2	67.5
⑩ 有田市	30,592	28,908	27,268	<b>25,519</b>	23,759	21,988	20,232	100.0	94.5	89.1	<b>83.4</b>	77.7	71.9	66.1
⑪ 湯浅町	13,210	12,080	11,110	<b>10,149</b>	9,197	8,268	7,382	100.0	91.4	84.1	<b>76.8</b>	69.6	62.6	55.9
⑫ 広川町	7,714	7,359	7,002	<b>6,626</b>	6,234	5,841	5,445	100.0	95.4	90.8	<b>85.9</b>	80.8	75.7	70.6
⑬ 有田川町	27,162	25,755	24,346	<b>22,923</b>	21,559	20,252	18,965	100.0	94.8	89.6	<b>84.4</b>	79.4	74.6	69.8
有田 二次医療圏(小計)	78,678	74,102	69,726	<b>65,217</b>	60,749	56,349	52,024	100.0	94.2	88.6	<b>82.9</b>	77.2	71.6	66.1
⑭ 御坊市	26,111	24,998	23,889	<b>22,716</b>	21,551	20,376	19,202	100.0	95.7	91.5	<b>87.0</b>	82.5	78.0	73.5
⑮ 美浜町	8,077	7,629	7,171	<b>6,721</b>	6,274	5,827	5,397	100.0	94.5	88.8	<b>83.2</b>	77.7	72.1	66.8
⑯ 日高町	7,432	7,372	7,205	<b>7,011</b>	6,808	6,590	6,370	100.0	99.2	96.9	<b>94.3</b>	91.6	88.7	85.7
⑰ 由良町	6,508	5,912	5,394	<b>4,890</b>	4,406	3,938	3,494	100.0	90.8	82.9	<b>75.1</b>	67.7	60.5	53.7
⑱ 印南町	8,606	8,046	7,520	<b>6,982</b>	6,462	5,959	5,472	100.0	93.5	87.4	<b>81.1</b>	75.1	69.2	63.6
⑲ 日高川町	10,509	9,823	9,170	<b>8,541</b>	7,960	7,412	6,880	100.0	93.5	87.3	<b>81.3</b>	75.7	70.5	65.5
御坊 二次医療圏(小計)	67,243	63,780	60,349	<b>56,861</b>	53,461	50,102	46,815	100.0	94.9	89.7	<b>84.6</b>	79.5	74.5	69.6
⑳ 田辺市	79,119	75,510	71,810	<b>67,863</b>	63,855	59,846	55,893	100.0	95.4	90.8	<b>85.8</b>	80.7	75.6	70.6
㉑ みなべ町	13,470	12,748	12,075	<b>11,382</b>	10,722	10,072	9,417	100.0	94.6	89.6	<b>84.5</b>	79.6	74.8	69.9
㉒ 白浜町	22,696	21,588	20,371	<b>19,108</b>	17,860	16,634	15,438	100.0	95.1	89.8	<b>84.2</b>	78.7	73.3	68.0
㉓ 上富田町	14,807	14,633	14,348	<b>13,978</b>	13,548	13,069	12,547	100.0	98.8	96.9	<b>94.4</b>	91.5	88.3	84.7
㉔ すさみ町	4,730	4,251	3,801	<b>3,383</b>	3,001	2,654	2,361	100.0	89.9	80.4	<b>71.5</b>	63.4	56.1	49.9
田辺 二次医療圏(小計)	134,822	128,730	122,405	<b>115,714</b>	108,986	102,275	95,656	100.0	95.5	90.8	<b>85.8</b>	80.8	75.9	70.9
㉕ 新宮市	31,498	29,371	27,391	<b>25,376</b>	23,393	21,472	19,633	100.0	93.2	87.0	<b>80.6</b>	74.3	68.2	62.3
㉖ 那智勝浦町	17,080	15,877	14,659	<b>13,402</b>	12,177	11,005	9,910	100.0	93.0	85.8	<b>78.5</b>	71.3	64.4	58.0
㉗ 太地町	3,250	2,979	2,710	<b>2,447</b>	2,204	1,981	1,769	100.0	91.7	83.4	<b>75.3</b>	67.8	61.0	54.4
㉘ 古座川町	3,103	2,791	2,483	<b>2,207</b>	1,956	1,742	1,542	100.0	89.9	80.0	<b>71.1</b>	63.0	56.1	49.7
㉙ 北山村	486	441	394	<b>353</b>	318	287	263	100.0	90.7	81.1	<b>72.6</b>	65.4	59.1	54.1
㉚ 串本町	18,249	16,729	15,246	<b>13,777</b>	12,356	10,987	9,701	100.0	91.7	83.5	<b>75.5</b>	67.7	60.2	53.2
新宮 二次医療圏(小計)	73,666	68,188	62,883	<b>57,562</b>	52,404	47,474	42,818	100.0	92.6	85.4	<b>78.1</b>	71.1	64.4	58.1
和歌山県 合計	1,002,198	961,378	917,238	<b>869,182</b>	819,680	769,428	719,427	100.0	95.9	91.5	<b>86.7</b>	81.8	76.8	71.8

◆ 県内二次保健医療圏における人口推計について（その2） ◆

圏域名	総人口(人)			65歳未満人口(人)			65歳以上人口(人)			75歳以上人口(人)		
	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年
和歌山 二次医療圏	435,538	384,398	321,481	318,817	255,526	197,369	116,721	128,872	124,112	57,002	79,401	72,476
那賀 二次医療圏	118,722	110,522	97,481	92,264	76,691	61,340	26,458	33,831	36,141	13,022	19,415	21,036
橋本 二次医療圏	93,529	78,908	63,152	68,360	49,713	36,882	25,169	29,195	26,270	12,895	17,143	16,781
有田 二次医療圏	78,678	65,217	52,024	56,450	41,348	30,346	22,228	23,869	21,678	12,116	14,405	13,639
御坊 二次医療圏	67,243	56,861	46,815	47,880	36,563	28,104	19,363	20,298	18,711	10,763	12,025	11,536
田辺 二次医療圏	134,822	115,714	95,656	96,250	74,149	56,019	38,572	41,565	39,637	20,799	25,232	24,489
新宮 二次医療圏	73,666	57,562	42,818	47,984	32,286	22,499	25,682	25,276	20,319	14,183	16,114	13,291
和歌山県 合計	1,002,198	869,182	719,427	728,005	566,276	432,559	274,193	302,906	286,868	140,780	183,735	173,248
(参考) 全国の人口	128,057,352	120,658,816	107,275,851	98,577,343	84,085,329	68,597,749	29,480,009	36,573,487	38,678,102	14,193,622	21,785,638	22,229,933

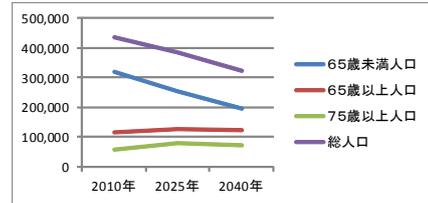
下表は、平成22年(2010年)の人口を100とした場合の各年の指数

圏域名	総人口(指数)			65歳未満人口(指数)			65歳以上人口(指数)			75歳以上(指数)		
	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年
和歌山 二次医療圏	100.0	88.3	73.8	100.0	80.1	61.9	100.0	110.4	106.3	100.0	139.3	127.1
那賀 二次医療圏	100.0	93.1	82.1	100.0	83.1	66.5	100.0	127.9	136.6	100.0	149.1	161.5
橋本 二次医療圏	100.0	84.4	67.5	100.0	72.7	54.0	100.0	116.0	104.4	100.0	132.9	130.1
有田 二次医療圏	100.0	82.9	66.1	100.0	73.2	53.8	100.0	107.4	97.5	100.0	118.9	112.6
御坊 二次医療圏	100.0	84.6	69.6	100.0	76.4	58.7	100.0	104.8	96.6	100.0	111.7	107.2
田辺 二次医療圏	100.0	85.8	70.9	100.0	77.0	58.2	100.0	107.8	102.8	100.0	121.3	117.7
新宮 二次医療圏	100.0	78.1	58.1	100.0	67.3	46.9	100.0	98.4	79.1	100.0	113.6	93.7
和歌山県 合計	100.0	86.7	71.8	100.0	77.8	59.4	100.0	110.5	104.6	100.0	130.5	123.1
(参考) 全国の人口	100.0	94.2	83.8	100.0	85.3	69.6	100.0	124.1	131.2	100.0	153.5	156.6

◆ 県内二次保健医療圏における人口推計について（その3） ◆

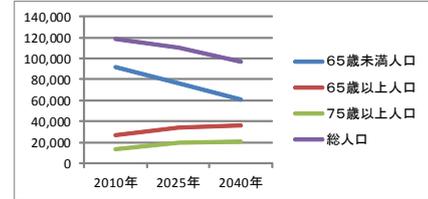
(人)

和歌山 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	318,817	255,526	197,369
②	65歳以上人口	116,721	128,872	124,112
(②の内数)	75歳以上人口	57,002	79,401	72,476
①+②	総人口	435,538	384,398	321,481



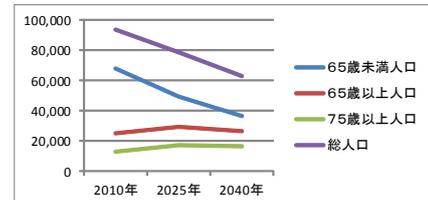
(人)

那賀 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	92,264	76,691	61,340
②	65歳以上人口	26,458	33,831	36,141
(②の内数)	75歳以上人口	13,022	19,415	21,036
①+②	総人口	118,722	110,522	97,481



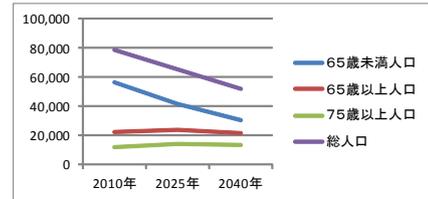
(人)

橋本 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	68,360	49,713	38,882
②	65歳以上人口	25,169	29,195	26,270
(②の内数)	75歳以上人口	12,895	17,143	16,781
①+②	総人口	93,529	78,908	63,152



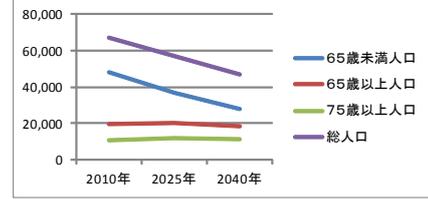
(人)

有田 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	56,450	41,348	30,346
②	65歳以上人口	22,228	23,869	21,678
(②の内数)	75歳以上人口	12,116	14,405	13,639
①+②	総人口	78,678	65,217	52,024



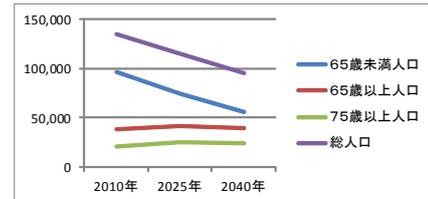
(人)

御坊 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	47,880	36,563	28,104
②	65歳以上人口	19,363	20,298	18,711
(②の内数)	75歳以上人口	10,763	12,025	11,536
①+②	総人口	67,243	56,861	46,815



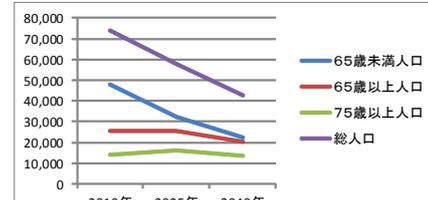
(人)

田辺 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	96,250	74,149	56,019
②	65歳以上人口	38,572	41,565	39,637
(②の内数)	75歳以上人口	20,799	25,232	24,489
①+②	総人口	134,822	115,714	95,656



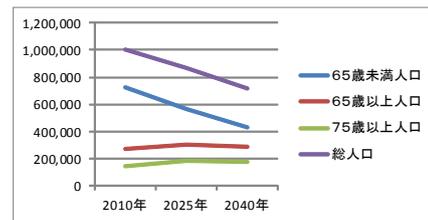
(人)

新宮 二次医療圏		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	47,984	32,286	22,499
②	65歳以上人口	25,682	25,276	20,319
(②の内数)	75歳以上人口	14,183	16,114	13,291
①+②	総人口	73,666	57,562	42,818



(人)

和歌山県 合計		2010年	2025年	2040年
①	65歳未満人口	728,005	566,276	432,559
②	65歳以上人口	274,193	302,906	286,868
(②の内数)	75歳以上人口	140,780	183,735	173,248
①+②	総人口	1,002,198	869,182	719,427

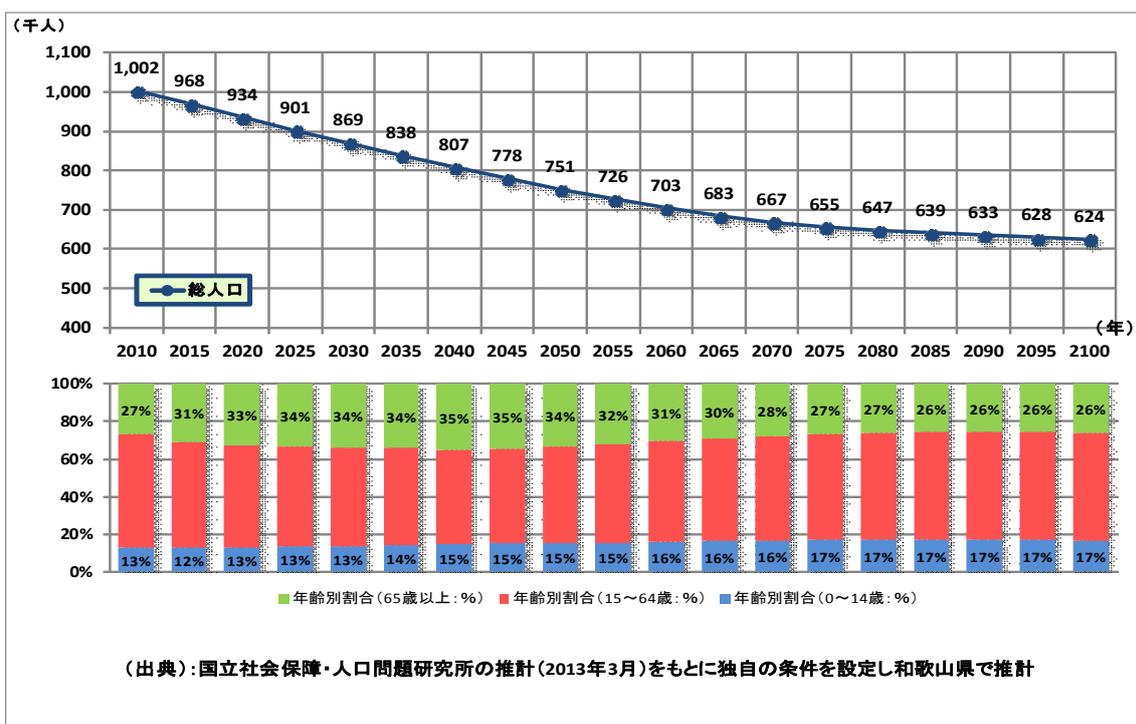


## 【 参 考 】

- 迫り来る人口減少問題に対して今後何の手立ても講じなければ前述のような人口推計となるところですが、和歌山県においては平成27年4月に「和歌山県まち・ひと・しごと創生戦略本部」を設置して地方版総合戦略の策定作業を進め、人口の現状と将来の方向を示した『和歌山県長期人口ビジョン』を策定するとともに、当該ビジョンを実現するための「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年6月に策定したところです。
- 同人口ビジョンの実現によって、2025年における和歌山県人口は約90万人を、また2040年においては人口約81万人を維持するものと見込まれるところであり、国立社会保障・人口問題研究所による推計人口（2025年における和歌山県人口は約87万人、2040年における県人口は約72万人）に対しては、2025年では約3万人、また2040年では約9万人、上回ることが見込まれるところです。

(注)地域医療構想策定にあたっての「全国統一ルール」として用いることと定められている上記人口問題研究所による人口推計を今回は用いて推計等を行ったものですが、人口推計方法を含めて各都道府県に一定の裁量が今後認められることとなれば、上記『和歌山県人口ビジョン』による推計人口」を用いた将来の医療需要等の推計を行うことも想定されます。

### ◆（参考）『和歌山県長期人口ビジョン』による人口推計について◆



(2) 和歌山県内における医療機関の状況等について

- 「病床機能報告制度（※下記欄内参照）」に基づき各医療機関より報告のあった2014年（平成26年）7月1日現在の県内各医療機関（病院・診療所）の状況は、次ページ一覧表のとおりです。

（※）病床機能報告制度について

各医療機関が、その有する病床（一般病床及び療養病床）の機能区分、構造設備、人員配置等に関する項目及び具体的な医療の内容に関する項目（毎年7月1日時点）を、自らの分析により都道府県に報告する制度であり、2014年（平成26年）から開始されている。（医療法第30条の13）

また、同報告制度マニュアルにおいて示される「4つの医療機能（高度急性期機能・急性期機能・回復期機能・慢性期機能）」の例示は、下表のとおり。

病床機能報告制度による、和歌山県内各医療機関の機能等に関しては、和歌山県ホームページ（<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/byosyokinou.html>）上において公表している。

◆ 「4つの医療機能」について（「病床機能報告マニュアルより」） ◆

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 ※高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟
急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

◆ 2014年（平成26年）7月1日現在の県内医療機関の状況等について ◆

（単位：床）

区分	医療機関数	病床数					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
和歌山	76	1,644	2,452	495	1,527	127	6,245
病院	42	1,644	2,249	409	1,373	72	5,747
有床診療所	34		203	86	154	55	498
那賀	16		483	198	429	23	1,133
病院	7		419	141	429		989
有床診療所	9		64	57		23	144
橋本	9		573	102	123		798
病院	4		536	102	66		704
有床診療所	5		37		57		94
有田	10		341	94	263		698
病院	5		289	94	244		627
有床診療所	5		52		19		71
御坊	6	4	606	39	275		924
病院	4	4	588	39	256		887
有床診療所	2		18		19		37
田辺	18	36	938	81	583	61	1,699
病院	8	36	886	81	532	23	1,558
有床診療所	10		52		51	38	141
新宮	13		481	162	377	23	1,043
病院	6		435	143	358		936
有床診療所	7		46	19	19	23	107
<b>県計</b>	<b>148</b>	<b>1,684</b>	<b>5,874</b>	<b>1,171</b>	<b>3,577</b>	<b>234</b>	<b>12,540</b>
病院	76	1,684	5,402	1,009	3,258	95	11,448
有床診療所	72		472	162	319	139	1,092

< 出典：平成26年度「病床機能報告」 >

（注1）地域医療構想においては、精神科病院等は対象外とされているため、上記医療機関数には含めていない。（地域医療構想において直接の対象とならない精神病床・結核病床・感染症病床は、上表には含めていない）

（注2）「分類なし」とは、当該病床が休床等の状況にあったため4医療機能への分類が不可能であったもの。

（注3）有床診療所については、その病床が担っている役割（次ページのとおり）に関しても選択の上、報告することとされている。

◆有床診療所の病床の担う役割について（「病床機能報告マニュアルより」）◆

有床診療所の病床の担う役割について	
①	病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能
②	専門医療を担って病院の役割を補完する機能
③	緊急時に対応する機能
④	在宅医療の拠点としての機能
⑤	人生の最終段階における医療（終末期医療）を担う機能

○ また、地域医療構想の対象となる一般病床・療養病床に関してみると、県内各二次保健医療圏別におけるそれぞれの許可病床数は、下表のとおりとなっています。

◆県内における一般病床・療養病床の状況について◆  
（2014年（平成26）10月1日現在）

（単位：床）

区分	病院			診療所			計(病院+診療所)			【参考】 基準病床数 (※)
	一般病床	療養病床	一般+療養	一般病床	療養病床	一般+療養	一般病床	療養病床	一般+療養	
和歌山圏域	4,584	1,163	5,747	589	22	611	5,173	1,185	6,358	4,335
那賀圏域	660	329	989	147	30	177	807	359	1,166	754
橋本圏域	708	64	772	64	30	94	772	94	866	535
有田圏域	382	245	627	65	16	81	447	261	708	501
御坊圏域	836	51	887	78	16	94	914	67	981	534
田辺圏域	1,009	549	1,558	105	57	162	1,114	606	1,720	1,209
新宮圏域	557	381	938	183	12	195	740	393	1,133	628
県計	8,736	2,782	11,518	1,231	183	1,414	9,967	2,965	12,932	8,496

<出典： 厚生労働省「医療施設調査」>

(※)「基準病床数」とは、医療法の規定に基づき、病床整備の基準として定めるものである。既存病床数が「基準病床数」を上回る圏域においては、原則として病床の新設・増加が制限される。

### (3) 和歌山県内における受療動向等について

- 地域医療構想を検討するにあたっては、2013年度（平成25年度）のレセプトデータ等を用いて現状の受療動向等を把握する必要があります。
- 平成25年度の「NDB（ナショナルデータベース）のレセプトデータ（※）」によると、県内二次保健医療圏の入院患者の動向は、総じて、医療施設が集中している和歌山保健医療圏に入院患者が集中する傾向にあり、とりわけ、那賀・有田保健医療圏から和歌山保健医療圏への患者流出が見られます。
- また橋本保健医療圏では、奈良県（南和圏域）から患者流入が見られ、大阪府（南河内圏域）への患者流出が見られる状況にあります。
- 一方、御坊・田辺・新宮保健医療圏においても、それぞれに隣接する圏域を中心として患者流出入が見られるところであり、新宮圏域においては隣接する三重県（東紀州圏域）から患者流入が見られます。

#### (※) NDBのレセプトデータについて

NDB（National Database）とは、レセプト情報及び特定健診等情報データベースの呼称。「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定により、厚生労働大臣が医療保険者等より収集するレセプト（診療報酬明細書及び調剤報酬明細書）に関する情報をNDBに格納し、管理しているもの。

集計項目が10未満の場合には、「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」の規定に基づき、数値が公表されない。

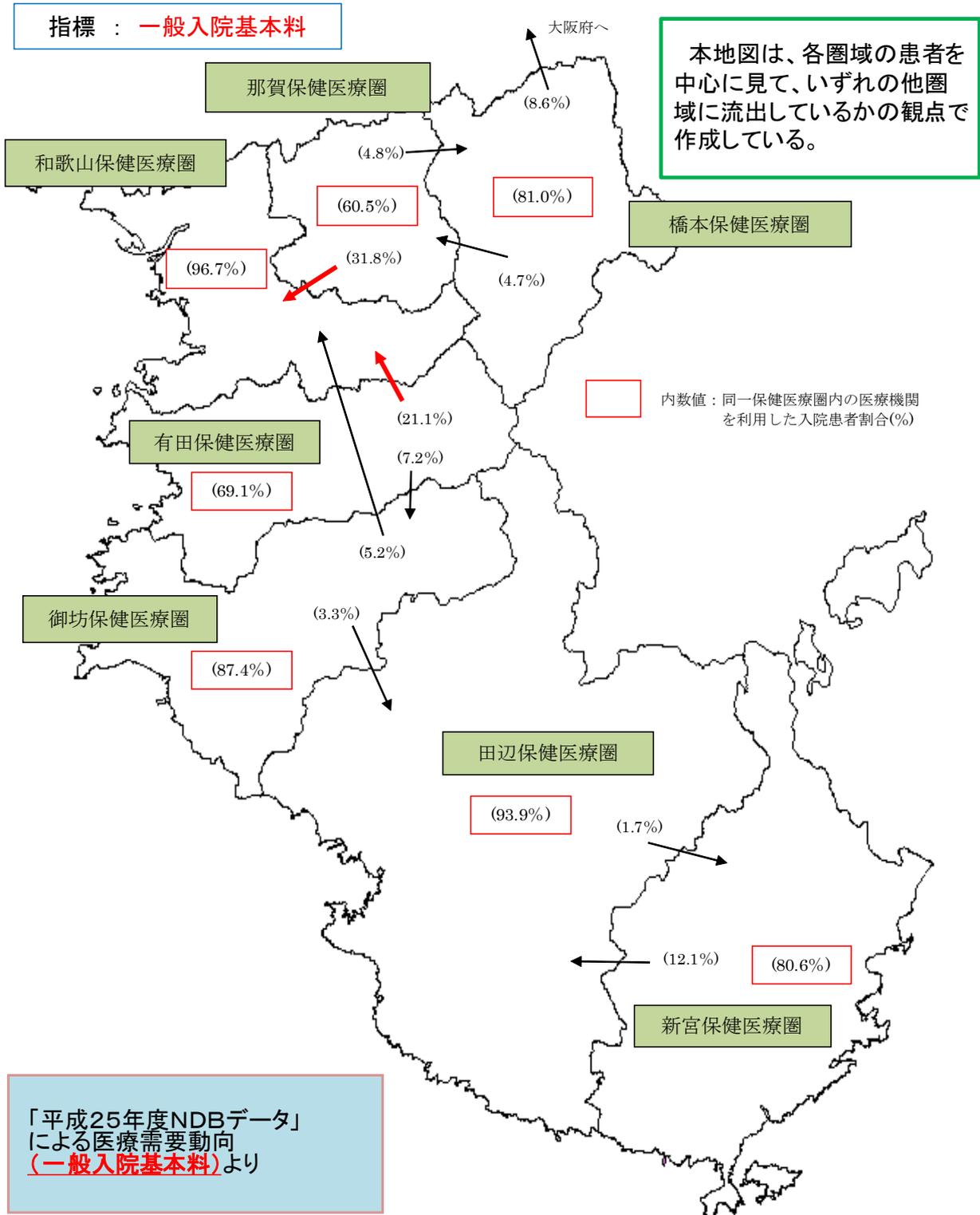
- 上述の、「患者流出」（※入院患者を中心に見て、いずれの圏域に所在する医療機関に患者が流出しているか）及び「患者流入」（※各圏域に所在する医療機関を中心に見て、いずれの圏域に住所地を持つ患者が入院しているか）の状況を可視化すると、次ページ以降（P12～15）のようになります。
- また、主要疾病等に係る受療動向の詳細に関しては、下記（①②）の各ページにおいて示すとおりです。

① 主要疾病等に係る「充足率」一覧（P16）

② ①に関して、各主要疾病等ごとの受療動向をクロス表により示したもの（＜資料編＞P1～P19）

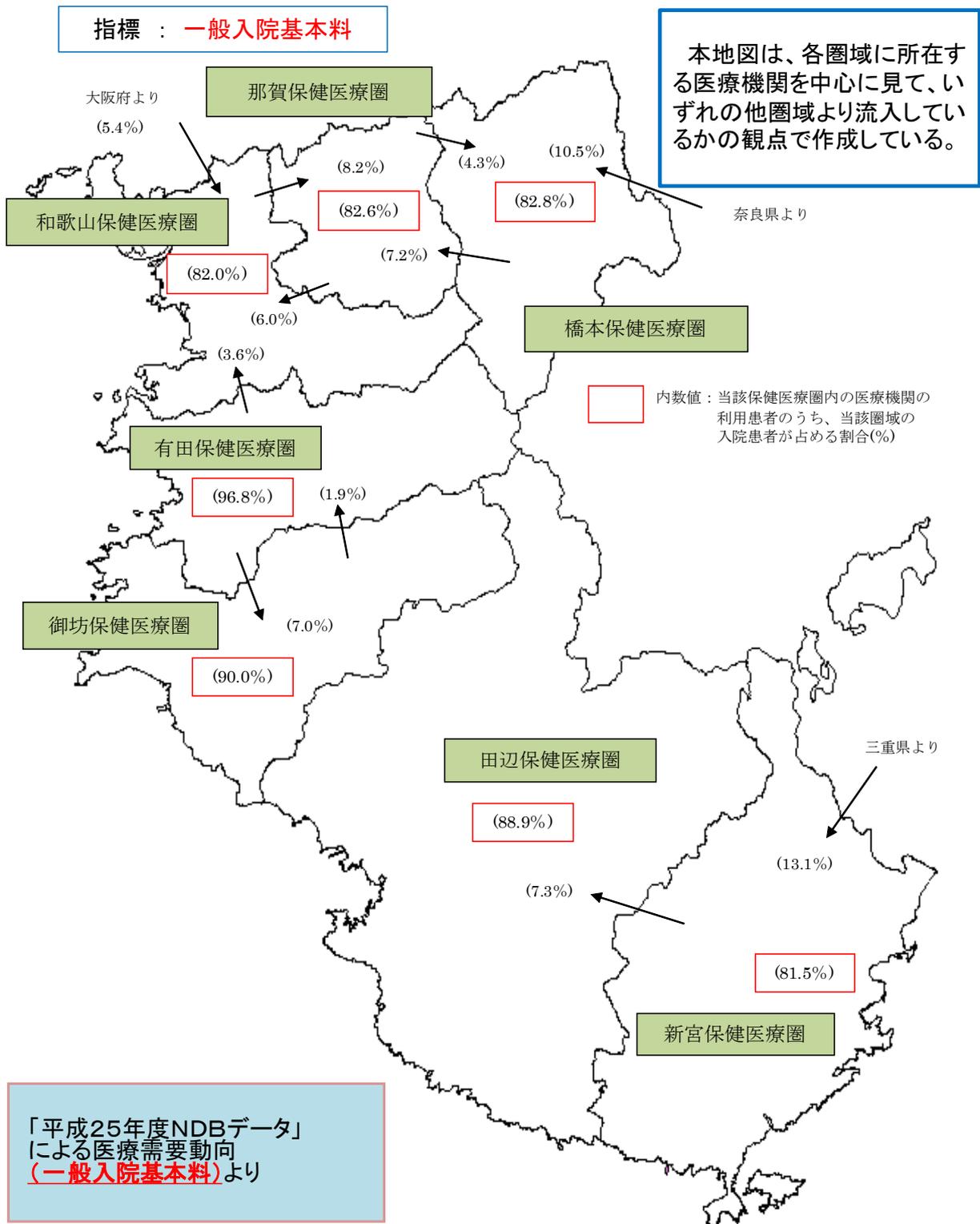
◆ 2013年度（平成25年度）NDBデータによる「患者流出」の状況◆

（指標： 一般入院基本料）



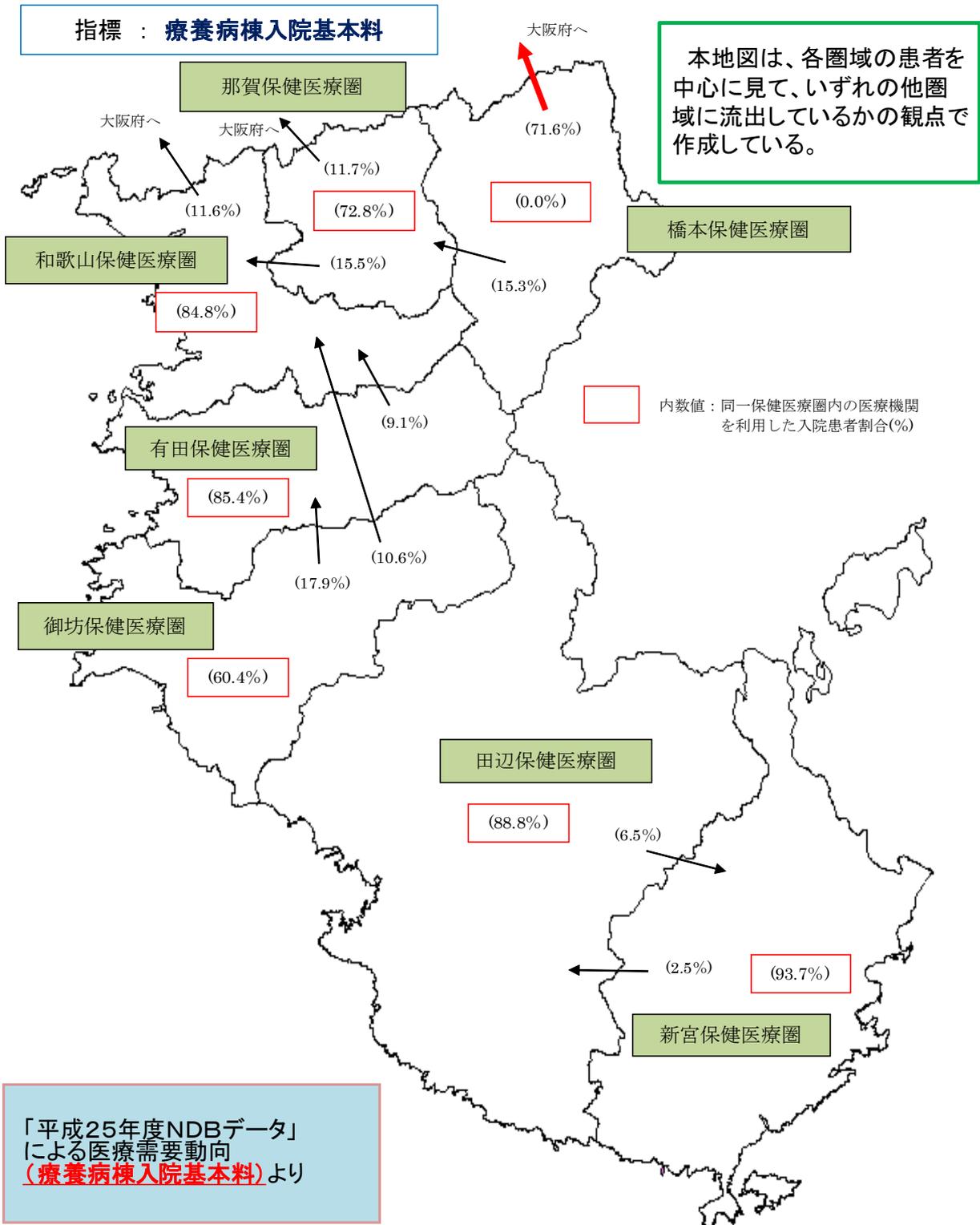
◆ 2013年度（平成25年度）NDBデータによる「患者流入」の状況◆

（指標：一般入院基本料）



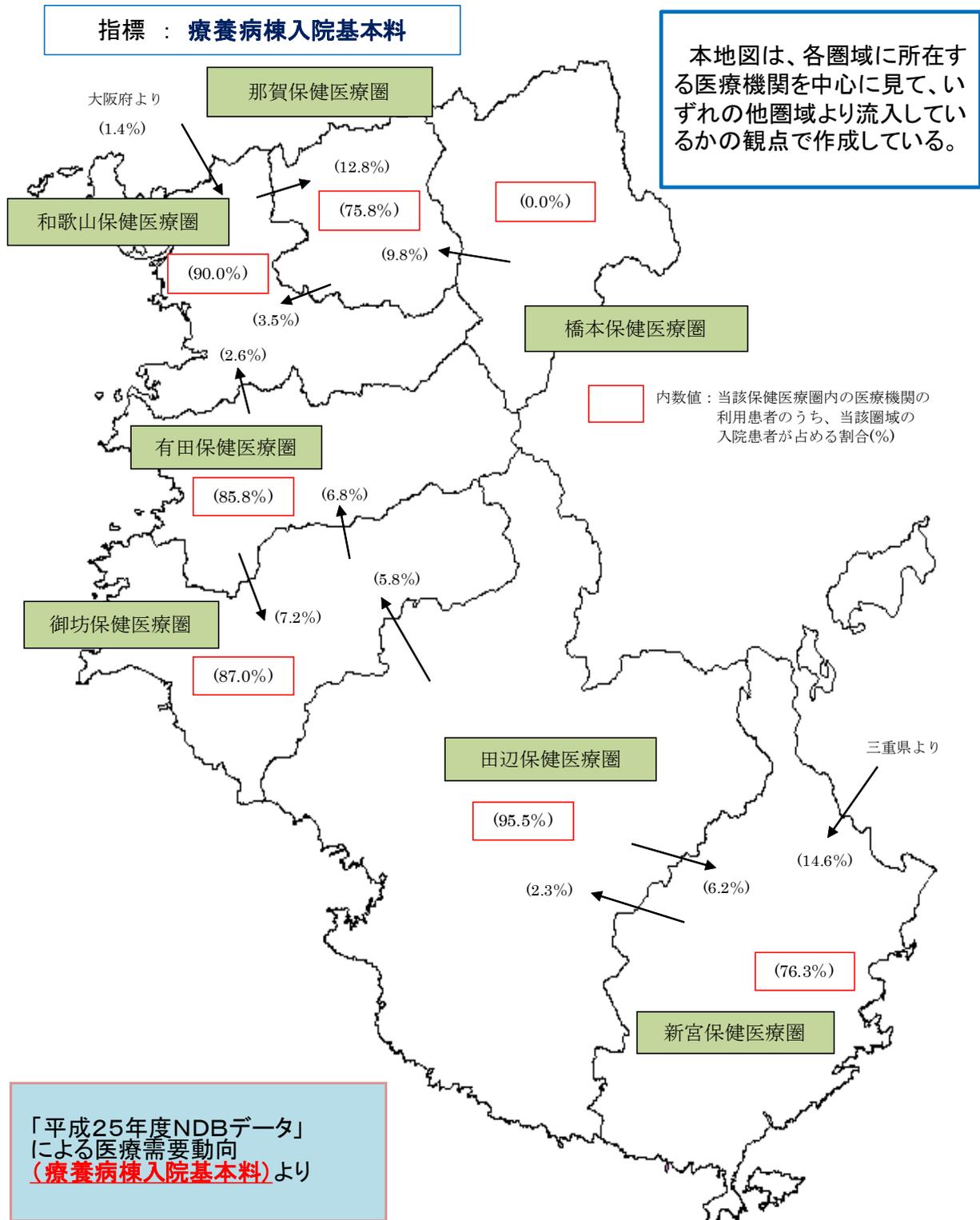
◆ 2013年度（平成25年度）NDBデータによる「患者流出」の状況◆

（指標：療養病棟入院基本料）



◆ 2013年度（平成25年度）NDBデータによる「患者流入」の状況◆

（指標：療養病棟入院基本料）



○ 主要疾病等に係る患者流出入（平成25年度）に関しては〈資料編〉P1～P19においてそれぞれ示すとおりであるとともに、一覧化した主要疾病別の充足率（※）は、下記に示すとおりです。

※ここで言う充足率とは、「当該圏域内の医療施設で診療を受けた患者数」を「当該圏域内の患者数」で除した割合です。

※一方で、「他圏域への流出患者の割合」及び「各圏域医療施設への他圏域流入患者の割合」は、P17～P18に示すとおりです。

◆2013年度（平成25年度）における「充足率」の状況（主要疾病等）◆

80%未満

平成25年度「NDBデータ」による分析結果

区 分	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮	県計
基本診療体制（一般入院基本料）（入院）	117.9%	73.2%	97.8%	71.4%	97.0%	105.7%	99.0%	102.7%
一般入院基本料（7対1, 10対1）（再掲）（入院）	119.8%	70.7%	98.5%	71.3%	97.0%	106.7%	97.3%	103.0%
一般入院基本料（13対1, 15対1）（再掲）（入院）	106.2%	96.7%	86.4%	73.7%	96.4%	0.0%	125.7%	100.6%
基本診療体制（療養病棟入院基本料）（入院）	94.1%	96.1%	0.0%	99.6%	69.5%	93.0%	122.8%	92.3%
基本診療体制（有床診療所入院基本料）（入院）	112.9%	90.1%	94.2%	63.0%	0.0%	90.4%	101.0%	100.0%
基本診療体制（有床診療所療養病床入院基本料）（入院）	0.0%	120.9%	90.5%	102.8%	65.2%	108.0%	0.0%	100.0%
がん診療（がん診療）（入院）	127.6%	73.7%	70.5%	53.2%	83.8%	105.0%	83.4%	101.1%
がん診療（胃がん）（入院）	122.9%	74.7%	80.8%	63.8%	85.8%	107.3%	85.0%	100.9%
がん診療（大腸がん）（入院）	114.6%	93.1%	69.6%	70.1%	92.6%	99.6%	92.2%	100.6%
がん診療（直腸がん）（入院）	111.2%	96.4%	73.8%	75.0%	136.3%	97.8%	84.2%	100.3%
がん診療（肝がん）（入院）	128.3%	79.5%	70.4%	45.4%	82.4%	100.4%	76.0%	101.4%
がん診療（乳がん）（入院）	120.5%	70.0%	104.3%	58.8%	37.8%	121.9%	70.3%	100.2%
がん診療（肺がん）（入院）	119.3%	84.3%	67.0%	40.3%	102.6%	100.7%	81.4%	100.0%
2次救急（入院）	123.4%	89.0%	92.3%	52.9%	101.7%	104.3%	103.7%	103.2%
3次救急（入院）	140.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	106.5%	0.0%	103.9%
救命・救急（夜間休日救急搬送）	118.7%	88.7%	110.2%	56.7%	122.0%	102.0%	118.5%	106.3%
急性心筋梗塞（入院）	113.8%	83.3%	86.3%	57.8%	102.5%	101.9%	112.7%	101.1%
糖尿病（入院）	117.3%	79.1%	81.7%	75.9%	85.6%	93.4%	102.7%	100.6%
脳卒中（入院）	105.8%	83.3%	79.9%	82.7%	92.3%	96.3%	103.9%	96.9%

（※）「充足率」＝（当該圏域内の医療施設で診療を受けた患者数）÷（当該圏域内の患者数）×100

（出典）患者レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB：ナショナルデータベース）（平成25年度）

◆ 2013年度（平成25年度）における「流出患者」の状況（主要疾病等） ◆

流出率20%以上

区 分	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
基本診療体制（一般入院基本料）（入院）	3.3%	39.5%	19.0%	30.9%	12.6%	6.1%	19.4%
一般入院基本料（7対1，10対1）（再掲）（入院）	3.5%	41.6%	19.1%	30.8%	13.3%	5.2%	20.2%
一般入院基本料（13対1，15対1）（再掲）（入院）	2.1%	17.2%	18.0%	30.7%	7.4%	100.0%	5.4%
基本診療体制（療養病棟入院基本料）（入院）	15.2%	27.2%	100.0%	14.6%	39.6%	11.2%	6.3%
基本診療体制（有床診療所入院基本料）（入院）	4.7%	19.2%	23.7%	37.0%	100.0%	14.1%	22.1%
基本診療体制（有床診療所療養病床入院基本料）（入院）	100.0%	0.0%	9.5%	6.7%	34.8%	0.0%	100.0%
がん診療（がん診療）（入院）	4.0%	39.7%	41.9%	51.4%	26.0%	10.5%	34.5%
がん診療（胃がん）（入院）	2.2%	36.6%	31.2%	38.3%	21.0%	6.0%	21.0%
がん診療（大腸がん）（入院）	2.7%	28.6%	38.3%	33.7%	15.7%	9.4%	21.0%
がん診療（直腸がん）（入院）	5.3%	24.9%	35.7%	25.0%	0.0%	14.6%	41.4%
がん診療（肝がん）（入院）	3.4%	33.3%	40.8%	54.6%	23.2%	11.7%	33.8%
がん診療（乳がん）（入院）	5.2%	51.7%	20.5%	52.6%	62.2%	6.2%	45.5%
がん診療（肺がん）（入院）	3.7%	32.9%	43.6%	62.0%	19.6%	9.4%	33.1%
2次救急（入院）	4.3%	23.9%	21.3%	48.4%	11.1%	4.1%	15.6%
3次救急（入院）	0.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	3.0%	100.0%
救命・救急（夜間休日救急搬送）	10.0%	26.0%	11.2%	43.3%	0.0%	5.1%	0.0%
急性心筋梗塞（入院）	3.9%	32.0%	27.2%	45.2%	8.5%	6.7%	7.6%
糖尿病（入院）	6.6%	42.3%	31.1%	34.6%	22.8%	15.9%	17.3%
脳卒中（入院）	8.3%	32.4%	35.0%	25.7%	22.1%	9.6%	16.0%

(※)「流出患者割合」=(当該圏域以外の医療施設で診療を受けた患者数)÷(当該圏域内の患者数)×100

(出典)患者レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB:ナショナルデータベース)(平成25年度)

◆ 2013年度（平成25年度）における「流入患者」の状況（主要疾病等） ◆

流入率20%以上

区 分	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
基本診療体制（一般入院基本料）（入院）	18.0%	17.4%	17.2%	3.2%	10.0%	11.1%	18.5%
一般入院基本料（7対1，10対1）（再掲）（入院）	19.5%	17.4%	17.9%	2.9%	10.6%	11.1%	18.0%
一般入院基本料（13対1，15対1）（再掲）（入院）	7.8%	14.3%	5.1%	5.9%	3.9%	0.0%	24.7%
基本診療体制（療養病棟入院基本料）（入院）	10.0%	24.2%	0.0%	14.2%	13.0%	4.5%	23.7%
基本診療体制（有床診療所入院基本料）（入院）	15.6%	10.3%	19.0%	0.0%	0.0%	4.9%	22.9%
基本診療体制（有床診療所療養病棟入院基本料）（入院）	0.0%	17.3%	0.0%	9.3%	0.0%	7.4%	0.0%
がん診療（がん診療）（入院）	24.8%	18.2%	17.5%	8.7%	11.7%	14.8%	21.4%
がん診療（胃がん）（入院）	20.4%	15.1%	14.9%	3.3%	7.9%	12.3%	7.1%
がん診療（大腸がん）（入院）	15.1%	23.2%	11.3%	5.4%	8.9%	9.0%	14.3%
がん診療（直腸がん）（入院）	14.9%	22.1%	12.9%	0.0%	26.6%	12.7%	30.4%
がん診療（肝がん）（入院）	24.7%	16.1%	15.9%	0.0%	6.8%	12.0%	12.9%
がん診療（乳がん）（入院）	21.4%	31.0%	23.8%	19.3%	0.0%	23.0%	22.5%
がん診療（肺がん）（入院）	19.3%	20.5%	15.8%	5.7%	21.6%	10.1%	17.8%
2次救急（入院）	22.4%	14.4%	14.7%	2.4%	12.7%	8.1%	18.6%
3次救急（入院）	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%	0.0%
救命・救急（夜間休日救急搬送）	24.2%	16.5%	19.5%	0.0%	18.0%	6.9%	15.6%
急性心筋梗塞（入院）	15.5%	18.3%	15.6%	5.2%	10.8%	8.5%	18.0%
糖尿病（入院）	20.4%	27.0%	15.8%	13.8%	9.8%	9.9%	19.4%
脳卒中（入院）	13.4%	18.8%	18.7%	10.2%	15.6%	6.2%	19.1%

（※）「流入患者割合」＝（当該圏域以外の患者数）÷（当該圏域内の医療施設で診療を受けた患者数）×100

（出典）患者レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB：ナショナルデータベース）（平成25年度）

○ 医療の供給量に着目した「SCR（年齢調整標準化レセプト出現比）」（※下記欄内）で和歌山県内の状況を分析すると、下記に示すとおりとなっています。

（※）「SCR」について

SCR（Standardized Claim Ratio（年齢調整標準化レセプト出現比））とは、

- ・各指標のレセプト件数を、当該地域が全国と同じ年齢構成、人口と仮定した場合に想定される全国平均のレセプト数で除した指数です。
- ・患者流出入が無ければ、SCRが100より大きければ医療提供過剰、100より小さければ医療提供過少であることを表しています。

◆ 「年齢調整標準化レセプト出現比」（SCR）から見た県内各圏域における医療供給体制の現状について◆

80 未満

指標名	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮	和歌山県全体
一般入院基本料(入院)	108.1	63.3	98.9	60.8	109.1	112.7	98.4	98.7
一般入院基本料(7, 10対1)(再掲)(入院)	104.7	61.8	101.9	62.3	103.8	122.8	99.5	98.6
一般入院基本料(13, 15対1)(再掲)(入院)	145.1	85.4	67.3	46.8	173.6		91.9	100.0
療養病棟入院基本料(入院)	92.8	89.4		128.6	39.0	95.3	157.5	89.5
有床診療所入院基本料(入院)	122.1	139.8	61.2	47.6	9.9	48.4	97.0	92.3
有床診療所療養病床入院基本料(入院)		233.9	201.5	364.0	64.9	422.2		138.6
悪性腫瘍患者(入院)	131.3	70.3	67.5	43.4	81.8	95.2	69.4	98.0
胃悪性腫瘍患者(入院)	149.5	87.3	103.8	66.4	102.8	95.5	100.4	116.8
大腸悪性腫瘍患者(入院)	155.1	115.7	78.6	61.3	87.5	90.5	94.6	116.9
直腸悪性腫瘍患者(入院)	101.5	76.1	62.7	57.2	82.8	103.7	73.8	88.2
肝悪性腫瘍患者(入院)	142.6	103.3	68.5	36.3	67.7	79.1	68.0	102.1
乳房悪性腫瘍患者(入院)	113.0	41.0	67.2	28.1	29.8	78.1	45.4	78.0
肺悪性腫瘍患者(入院)	152.9	92.6	60.9	36.9	99.2	94.6	55.5	107.9
救急医療の体制(2次救急)(入院)	100.6	111.3	96.9	44.8	88.1	83.3	79.5	91.5
救急医療の体制(3次救急)(入院)	323.0					248.5		171.6
夜間休日救急搬送	56.5	97.2	110.3	40.1	95.1	85.8	186.9	81.9
急性心筋梗塞患者(入院)	130.8	118.2	85.7	59.6	149.3	82.4	150.8	115.7
糖尿病患者(入院)	117.8	71.5	76.8	67.0	71.3	65.5	97.3	92.7
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(入院)	92.4	66.0	62.8	77.5	59.7	65.0	85.6	78.9

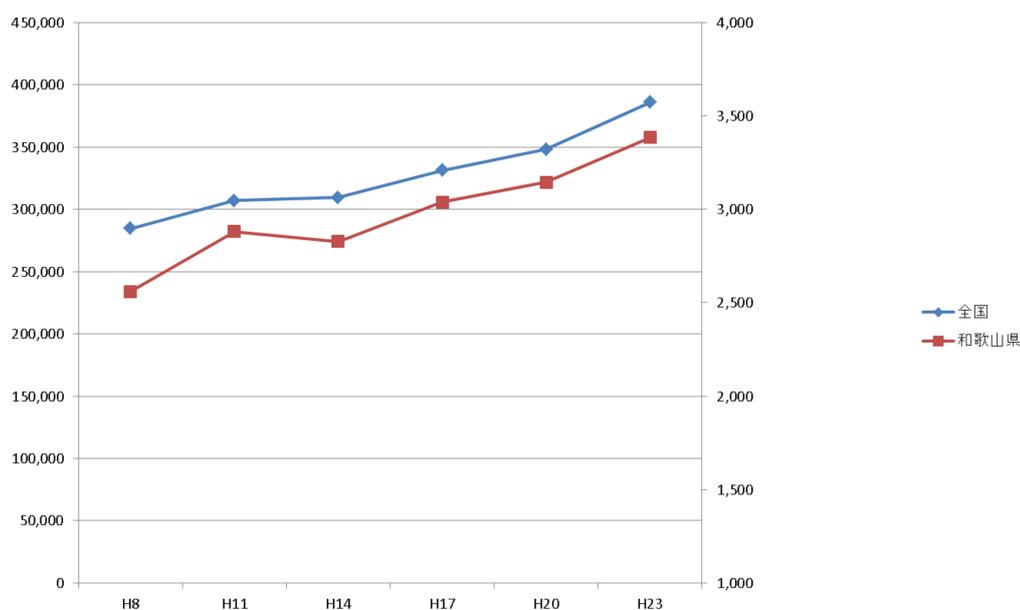
(4) 和歌山県内における医療費の状況等について

- 被保険者の高齢化及び医療技術の高度化に伴って、今後も医療費が増大していくことが見込まれる中で、医療費の適正化に向けた対策を行っていく必要があります。
- また、医療費の現状等を把握することにより、医療費の適正化に向けた対策を検討することや、生活習慣病の予防、健康づくりの大切さを住民に認識していただくよう、啓発等に努めていく必要があります。
- 和歌山県における総医療費等の推移に関しては以下に示すとおりであり、医療費の伸びに関して、全国と同傾向の推移を近年辿っているところです。

◆全国との比較でみた和歌山県における国民医療費の伸びの状況について◆

(単位: 億円)

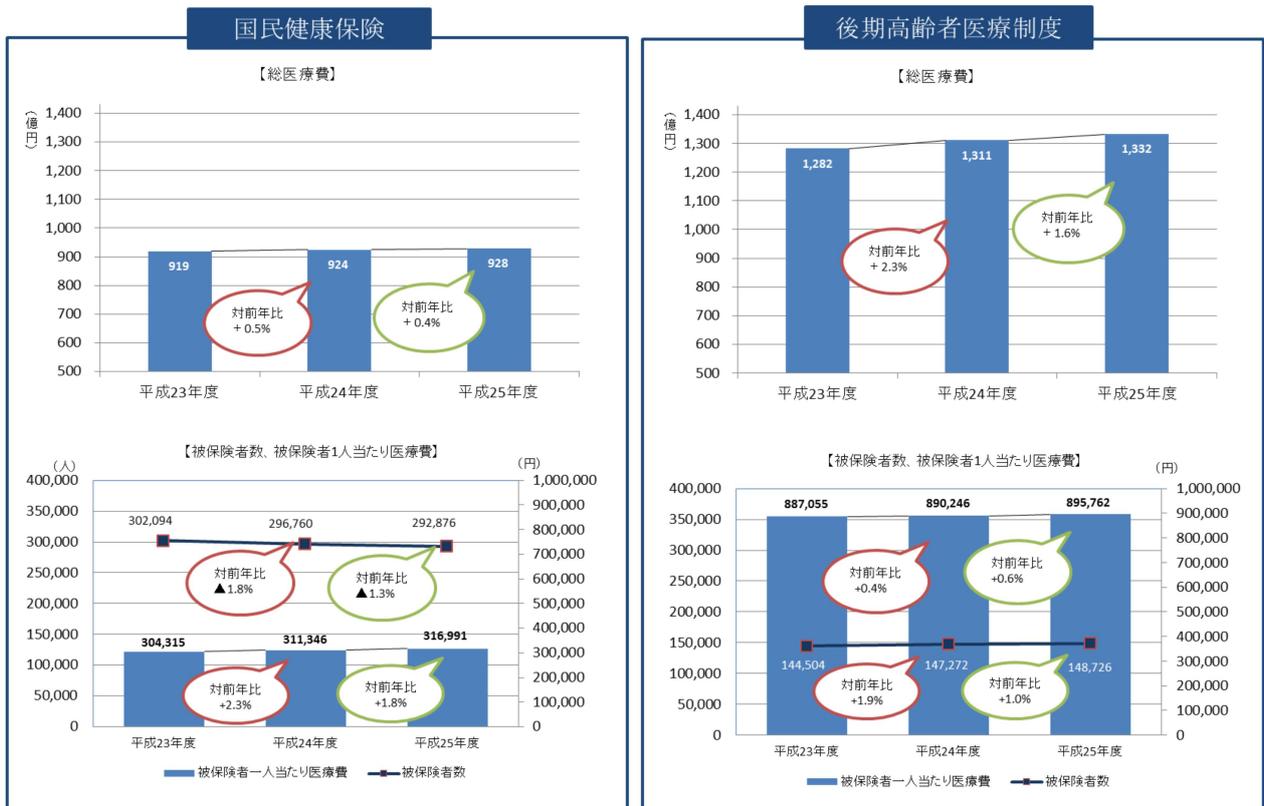
区分	H8	H11	H14	H17	H20	H23
全国	284,542	307,019	309,507	331,289	348,084	385,850
和歌山県	2,561	2,882	2,829	3,038	3,145	3,384



○ 市町村国保（国民健康保険）に係る平成25年度総医療費については、被保険者一人当たり医療費が1.8%増加した一方、被保険者数が1.3%減少したため、前年度から0.4%増加しています。

○ また、後期高齢者医療に係る平成25年度総医療費については、被保険者一人当たり医療費が0.6%増加し、被保険者数が1.0%増加していることから、前年度より1.6%増加しています。

◆和歌山県における総医療費等の推移について（国民健康保険・後期高齢者医療制度）◆

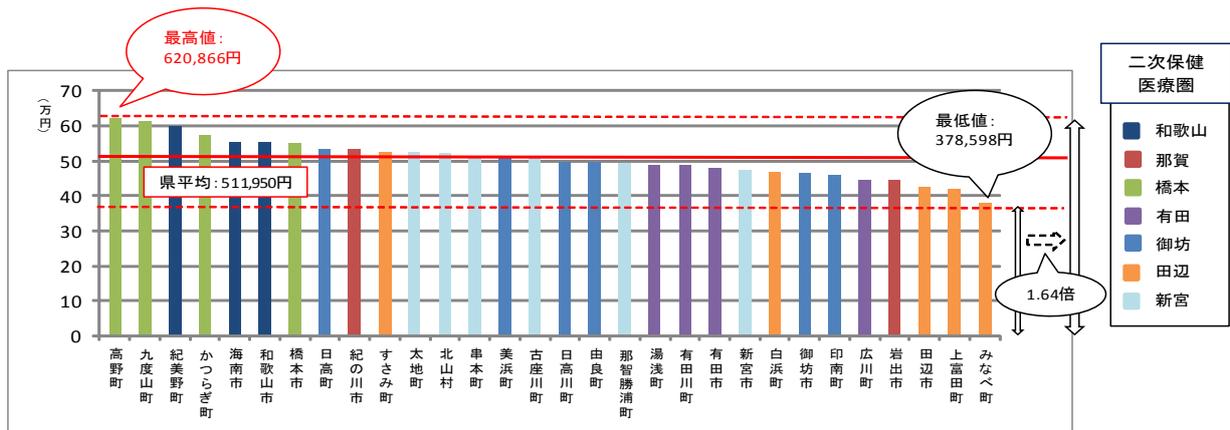


※国民健康保険については、国民健康保険事業年報（A表）及び（C表）より、療養の給付等（医科及び歯科診療に係る診療費、薬局調剤医療費、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費）を対象に分析したものです。

※後期高齢者医療については、後期高齢者医療毎月事業状況報告書（A表）及び後期高齢者医療診療報酬等請求内訳書より、療養の給付等（医科及び歯科診療に係る診療費、薬局調剤医療費、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費）を対象に分析したものです。

○ （国民健康保険と後期高齢者医療とを合計した）一人当たり医療費について、県内における最高値と最低値では、次ページのとおり、約1.6倍の格差があります。

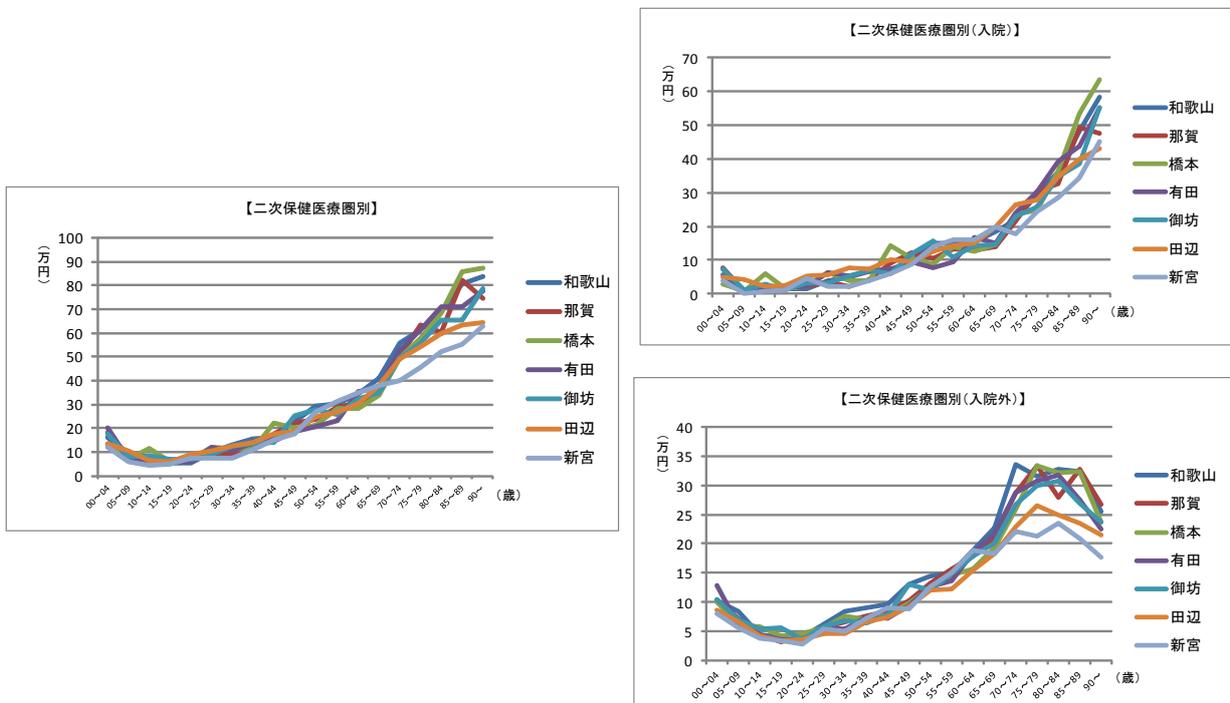
◆市町村別の被保険者一人当たり医療費（国民健康保険＋後期高齢者医療）◆



※国民健康保険については、平成25年度国民健康保険事業年報（A表）及び（C表）より、療養の給付等（医科及び歯科診療に係る診療費、薬局調剤医療費、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費）を対象に分析。

※後期高齢者医療については、平成25年度後期高齢者医療毎月事業状況報告書（A表）及び後期高齢者医療診療報酬等請求内訳書より、療養の給付等（医科及び歯科診療に係る診療費、薬局調剤医療費、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費）を対象に分析したもの。

○ また、地域別でみると、和歌山保健医療圏・橋本保健医療圏の一人当たり医療費が総じて高い傾向がある一方で、田辺保健医療圏が低くなっています。

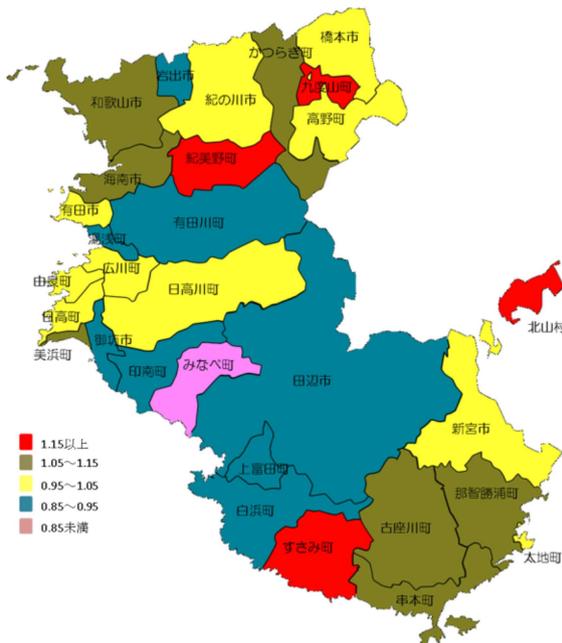


○ 70歳までは各圏域において概ね同様の傾向を示しますが、75歳以上では各圏域間で差異が大きくなる傾向があります。和歌山保健医療圏や橋本保健医療圏において、医療費が高くなる傾向があります。

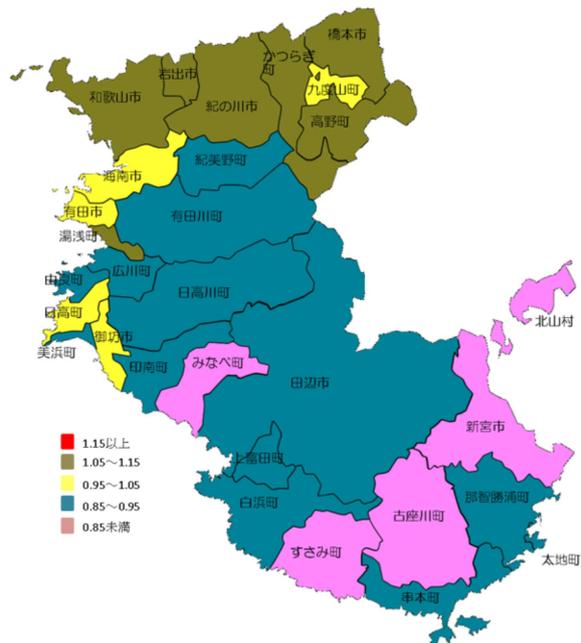
- 国民健康保険においては、紀北地域及び新宮保健医療圏において県平均の一人当たり医療費を上回る市町村が多い一方で、紀中地域においては県平均を下回る市町村が多い状況です。
- 後期高齢者医療においては、総じて、紀北地域において県平均の一人当たり医療費を上回る市町村が多くなっているところです。

◆一人当たり医療費の対和歌山県比（和歌山県平均＝1）◆

国保一人当たり医療費対和歌山県比



後期高齢者一人当たり医療費の対和歌山県比



※国民健康保険については、平成25年度国民健康保険事業年報（A表）及び（C表）より、療養の給付等（医科及び歯科診療に係る診療費、薬局調剤医療費、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費）を対象に分析したものの。

※後期高齢者医療については、平成25年度後期高齢者医療毎月事業状況報告書（A表）及び後期高齢者医療診療報酬等請求内訳書より、療養の給付等（医科及び歯科診療に係る診療費、薬局調剤医療費、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費）を対象に分析したものの。